

サンプル／出題傾向と出題予想

2級 建築施工管理

実地試験

問題2 用語問題

◎は、予想が的中したものです。

	H30重点	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19
◆ 躯体工事												
◇ 仮設工事		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
足場の壁つなぎ				○								
防護柵・朝顔		◎			◎				◎			
陸墨	○				○							
ローリングタワー			◎			◎			◎			
床開口部の養生	○					◎					○	
足場の手すり先行工法			◎				◎			○		
乗入れ構台	○						○					
親綱	○			◎				◎				○
ベンチマーク		◎						○				
安全ブロック	○									◎		
一側足場	○										○	
つり棚足場												○
◇ 土工事		◇		◇	◇	◇	◇		◇		◇	◇
床付け	○				◎							
布掘り	○					◎					○	
釜場		◎					◎					○
つぼ掘り				◎					○			
◇ 鉄筋工事		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
腹筋		◎			◎			◎				◎
スペーサー	○			◎		◎					○	
先組み工法			◎			◎			◎			○
あばら筋	○						○					
帯筋	○			◎						◎		
◇ コンクリート工事		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
ブリーディング		◎			○							
コンクリートの打継ぎ	○					◎			○			
ひび割れ誘発目地			◎				◎					
コンクリートの締固め	○							○				
耐震スリット	○							◎				
スランプ	○											
タンピング	○									○		
コンクリート回し打ち	○			◎						◎		
先送りモルタル			○								○	
超高压水による下地処理			○									
◇ 型枠工事		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇		◇	◇
根巻き	○				◎				◎			○
セパレーター		◎				◎						
パイプサポート	○						○					
フラットデッキプレート	○							○				
はく離剤			◎								○	
フォームタイ	○			◎								

サンプル／これだけ項目集 建築施工管理 2級実地

問題2 用語問題

◆ 躯体工事

◇ 仮設工事

2建築 実地 H29-2 H26-2 H22-2 H18-2
防護棚・朝顔

用語説明：

仮設足場で落下物を受け止めるために、足場や構造物の外部にはね出して設ける防護用の設備をいう。

仮設足場の作業床から機材・工具の落下を防止するため、中間部にはね出して取り付ける防護棚。

留意内容：

足場から外側へ跳ね出す長さは、水平距離で2m 以上とり、水平面に対する取付角度は20度以上とする。

一段目は、工事を行う部分の下10m以内の位置に設置する。

2建築 実地 H28-2 H25-2 H22-2 H17-2
ローリングタワー

用語説明：

高所作業に使用するため、枠組足場に車輪を取付け、作業床を備えた移動式の足場をいう。

留意内容：

安全帯を使用し、作業床には、手すり、昇降設備を設置する。

積載荷重を標識で表示し、定格荷重以上の積載はしない。

作業床上では、脚立、はしごなどは使用しない。

脚輪ブレーキは、移動中を除き常にロック状態にしておくこと、作業員を乗せたまま移動しない。

移動経路にある障害物は撤去し、足元の整理整頓を行う。

◇ 鉄筋工事

2建築 実地 H29-2 H26-2 H23-2 H19-2 H17-2
腹筋

用語説明：

梁主筋の重量、コンクリート打設時の振動などによる、あばら筋の変形・ズレを防止するために、主筋に平行に配置される中間の鉄筋。

留意内容：

スタラップのたるみと幅止めで、スタラップ筋が乱れないように、あばら筋の内側に配筋する。

腹筋は、梁せいが600mm以上の場合に、スタラップ筋の内側に結束線で固定する。

2建築 実地 H28-2 H25-2 H22-2 H19-2
先組み工法

用語説明：

鉄筋を工場や別の場所でカゴ状に組み上げて、設置場所まで移動し、柱や梁として建て込んでいく工法をいう。

留意内容：

鉄筋が組み合わされる部分に特に注意し、移動やひずみが生じないように、鉄筋間隔を正しくとり、十分堅固に組立てる

運搬時・つり上げ時に変形しないように、鉄筋の継手位置、交差箇所は、径0.8mm以上のなまし鉄線で結束する

移動時の補強を適切に実施するため、ガス圧接・アーク溶接の継手位置は、隣接する継手から相互に、400mm以上離して配筋する

◇ コンクリート工事

2建築 実地 H29-2 H26-2
ブリーディング

用語説明：

フレッシュコンクリートの打設後、固体材料の沈降・分離により練混ぜ水が遊離して、水が表面に浮かび上がる現象をいう。

留意内容：

気温が低いと水和硬化反応が遅くなり、ブリーディングが発生しやすくなるため、打込み時の温度管理、打設後の養生を適切に行う。

水分を吸収するスラボー等の型枠材を使用し、内部の余分な水分を取り去る。
適宜の人員を配置し、ブリーディングで分離したコンクリートの打継面の水、レイタンスを取り除く。
コンクリート配合の単位水量を少なくして、水セメント比を小さくする。
細骨材からの分離速度を遅くするため、比重に対して表面積の大きい細骨材を使用する。

2建築 実地 H28-2 H24-2 H17-2

ひび割れ誘発目地

用語説明：

コンクリートの乾燥収縮によるひび割れを、適切な位置にあえて発生させるために設ける目地をいう。

留意内容：

外壁コンクリートが大きく伸縮しないようなピッチで、水平には階高毎に目地を入れ、垂直には3m程度のピッチでひび割れ誘発目地を入れる。

ひび割れ誘発目地の位置は、型枠の割り付けなど、意匠と機能を両立した納まりに留意する。

目地の底に入るひび割れが見えなくするため、誘発目地の表面にシールを入れる。

ひび割れの発生を目地のみに集中させるため、誘発目地の間にひび割れ補強筋を設置する。